2026-09-14 01:11　台本の本格改稿・サイト再デプロイ

ユーザーから初稿の台本に対し「はっきり言って良いと思わない、100点満点の台本を求める」という明確なダメ出しを受け、以下5点を軸に`other/台本/台本_BackToTheFuture.md`を本格改稿した（旧版は`過去版/台本_BackToTheFuture_20260914.md`にアーカイブ）。プロット構造・ACT構成（1〜6）・上演時間配分（各ACT約7〜8分、全体約40分）・照明音響大道具の技術演出設計（SE1〜SE8・CUES00〜08・N1〜N3の各キュー、場面転換の段取り）は維持し、台詞・演技設計のみを書き直している。

1. **説明台詞が多すぎる問題**：台本中のナレーターを、音響キュー化されているN1（ACT1冒頭）・N2（ACT2冒頭）・N3（ACT6冒頭）の3箇所のみに絞り込み、それ以外の説明的なナレーター挿入（ACT2「気がつくとマーティが〜」・ACT3冒頭・ACT6中盤「こうしてマーティは〜」・ACT6終盤「過去を変え、未来を切り拓いた〜」の計4箇所）はすべて削除。代わりに「家族写真」という小道具（弟の輪郭が透ける『一部透け版』→ACT5で『元通り版』に差し替え）を新設し、両親の危機・回復を台詞で説明せず視覚的に見せる形にした。マーティが客席へ直接説明していた台詞（「これで僕はちゃんと生まれてくる」等）も削除・圧縮し、短い反応台詞に置き換えた。
2. **キャラクターの声が均質な問題**：台本冒頭のキャスト表直後に「演出メモ：キャラクターの口調の芯」表を新設。ドク（専門用語混じりの早口で興奮すると加速する）、ジョージ1955（言い淀む・SFオタク語りになると早口）、ジョージ1985（対照的に言い切り型）、ロレイン1955（グイグイ来る）、ロレイン1985（穏やかで芯が強い）、ビフ（伝法な口調＋決め台詞の繰り返し）、ストリックランド校長（決め台詞「将来ロクな人間にならんぞ」を状況に関係なく連発）の各口調を明文化し、台詞をそれぞれ書き分けた。
3. **ギャグの伏線・回収が弱い問題**：

- ビフの決め台詞「頭のネジ、どっかに忘れてきたんじゃねーのか？」をACT1（ビフ→マーティ）→ACT3（ビフ→ジョージ）→ACT4（ビフ→ジョージ、コーヒーカップを叩き落とす小道具ギャグを追加）→ACT5（ジョージがビフに言い返す、最大の見せ場として回収）と段階的にエスカレーションする設計に変更。同じSE6キューを使い回しつつ、毎回芝居の型・テンポ・セリフを変えた。
- 「カルヴィン・クライン」ギャグをACT2発生→ACT4（ジョージが気づかずマーティ本人を「カルヴィン」と呼ぶ）→ACT6（ジョージが出版する小説の主人公名が「カルヴィン」と判明するオチ）まで3段構えで回収する設計に変更。
- ギター早弾きギャグに「タウンズピープルが誰もついていけずキョトンとする」

「司会がマイクスタンドで引っかけて舞台袖へ誘導する」というオチを追加し、
ACT6カーテンコールでバンドリーダーが再びギターを差し出しマーティが両手を挙げて
固辞する、という最終回収のコマを新設。
4. **ラストの説明過多**：上記1番のとおりACT6終盤の説明的なナレーター2箇所を削除し、
ドク・ジョージ（カルヴィン伏線回収）・ストリックランド（1985年版で再登場、
決め台詞を1955年と1985年両方で使う）とのやり取り・ギター伏線回収の芝居で
「見せて終わる」構成に書き替えた。プロット上必須の「ラストフック」（ドクが
マーティの子供たちの危機を告げ「未来へ！」と誘う展開）自体は変更せず維持している。
5. **開幕のつかみが弱い問題**：開幕を「静的な朝食シーン→長い説明ナレーション」から
「弟妹のリモコン争奪戦→ロレインの一喝」という賑やかな家族の小競り合いを最初に
見せ、そのあとに1文だけの短いナレーションを挟む構成に変更。ドクの実験室登場も
「機材をいじっている」という静的な描写から「爆発直後、煤だらけで慌てている」
という視覚的な導入に変更した。
付随する不整合の発見・修正：ストリックランド校長がキャスト表・役割書には存在するが
初稿の台本本文には一度も登場しないという不整合を発見。改稿でACT3・ACT5・ACT6に
実際に登場させ、`other/役割書_キャスト.md`（出演表・出番早見表・兼務表）と
`other/役割書_小道具係.md`（兼務表）の登場ACT記載（旧：ACT2・3・5）をACT3・5・6に
同期修正した（旧版はそれぞれ`過去版/役割書_キャスト_20260914.md`・
`過去版/役割書_小道具係_20260914.md`にアーカイブ）。`役割書_小道具係.md`には新設した
「家族写真」小道具（2枚：一部透け版・元通り版）を小道具リスト・出し入れキュー（P4を
更新、P10を新設）・当日確認手順・リハーサル確認事項に反映した。`プロジェクト概要.md`
の「台本の構成（ACT1〜6）」表・「現在の状態・引継ぎ情報」にも改稿内容を追記した。
`other/企画書.md`・`other/配役表.md`は本改稿による影響がないため変更していない。
再生成・再デプロイ：

- 変更のあった`台本_BackToTheFuture.md`・`役割書_キャスト.md`・`役割書_小道具係.md`・
本ファイル（変更点.md）を`claude-workspace/tools/md_to_html.py`（テーマ`default`、
据え置き）でHTML再生成し、`tools/chrome_print.mjs`でPDFも再生成した
（Chromeが環境になかったため`@puppeteer/browsers`で一時導入して使用）。
- Cloudflare Pages（プロジェクト名`bttf-bunkasai`）へ再デプロイ。
公開URL：https://bttf-bunkasai.pages.dev（変更なし）

> ## 2026-09-13 15:28　サイト公開・Cloudflare Pagesへのデプロイ完了

- `other/`配下の企画書・台本・配役表・役割書6種・本ファイル（変更点.md）を`claude-workspace/tools/md_to_html.py`（テーマ`default`、他プロジェクトと非重複。`tools/PDF_STYLE_LOG.md`に使用実績を追記済み）でHTML化し、`生徒用/html/`以下に配置。さらに`tools/chrome_print.mjs`でPDF化し`生徒用/pdf/`以下にも配置（全10件、省略なし）。
- 変換過程で、キャスト表の凡例（`build_char_legend`）が3D-bunkasai-2026（アナと雪の女王）のキャラクター名を常に全件表示してしまい、本プロジェクトの配役表・台本にアナ雪の凡例が紛れ込むバグを発見。共有ツール`md_to_html.py`を修正し、実際に表に登場する役名のみ表示するよう改善（3D-bunkasai-2026側の表示結果には影響なし。詳細は`tools/PDF_STYLE_LOG.md`参照）。
- `other/企画書.md`・本ファイルで、太字強調（`...`）がMarkdownの行送り（ソース内の改行）をまたいでいたために変換後に`**`がそのまま残ってしまう箇所を発見・修正（該当箇所を1行にまとめて解消。修正前の版は`過去版/企画書_20260913.md`・`過去版/変更点_20260913.md`にアーカイブ済み）。
- `生徒用/音響ツール/icons/`が空だったため、PWAアイコン4種（icon-192.png / icon-512.png / icon-512-maskable.png / apple-touch-icon.png）を新規作成。時計塔とフラックスキャパシタ（稲妻）をイメージした簡易的な図形（こだわりすぎない簡易プレースホルダ）。`manifest.json`・`sw.js`のPRECACHE_URLSは既にこれらのファイル名を参照する設計になっていたため、コード側の変更は不要だった。
- サイトの顔として`index.html`を新規作成。プロジェクト名・3年D組/来年度以降候補・たたき台段階である旨を明記した上で、企画書・台本・配役表・役割書・変更点の各リンク（PDF版を主、HTML版へのリンクも併記）、音響再生ツールへのリンク、独立リポジトリへの将来移行予定・配役/実施年度未定の注記を掲載。`3D-bunkasai-2026`の`index.html`・`shiryo.html`の作りを参考にしつつ、閲覧用ページとしてシンプルに構成（詰め込みすぎない方針。Firebase等を使った閲覧ログ・匿名コメント機能は今回は導入せず、必要になれば別途追加を検討）。
- Cloudflare Pages（プロジェクト名`bttf-bunkasai`）へ新規デプロイ。
  公開URL：https://bttf-bunkasai.pages.dev
- アクセスゲート（パスワード/Googleログイン）は適用しない。理由：`claude-workspace/運用ルール/公開_個人情報とアクセス制限.md`の「自分以外の利用者が想定される共有ツールは対象外」に該当する（`3D-bunkasai-2026`と同じ扱い）。配役・生徒名などの個人情報は現時点で一切含まれていない（配役表はすべて「未定」）ことも確認済み。
- リポジトリ（`claude-workspace`）自体はPrivateのまま。デプロイはこのフォルダの中身のみアップロードする方式のため、他の無関係プロジェクトが公開されることはない。
- マイポータル（`taearimain-del/my-portal`、https://my-portal-f5d.pages.dev）にも

「文化祭『Back to the Future』資料（たたき台）」として掲載。`サイト/projects.json`に
1件追加、`サイト/index.html`のICONS/APP_COLORにオリジナルアイコン（時計塔＋稲妻）を追加。

2026-09-13 13:25　プロジェクト新規作成（Back to the Future・候補企画たたき台）

- `3D-bunkasai-2026`（アナと雪の女王、完了済み・参照専用）のフォルダ構成・仕組み（型）を
参考に、次年度以降の3年D組文化祭候補演目「Back to the Future」の資料一式を
`claude-workspace`リポジトリのサブフォルダ`BackToTheFuture-bunkasai/`として新規作成した。
- 本来は独立GitHubリポジトリを想定していたが、本セッション時点でリポジトリ新規作成権限が
なかったため、暫定的に`claude-workspace`内へ配置した（**将来的に独立リポジトリへ切り出す可能性あり**。詳細は`README.md`・`プロジェクト概要.md`参照）。
- 台本・企画書・配役表・役割書は`3D-bunkasai-2026`から複製せず、Back to the Future用に
すべて新規創作した（アナ雪の内容は一切含まない）。配役・実施年度は未定。
- 作成物一覧：
- `README.md` / `CLAUDE.md` / `プロジェクト概要.md`
- `other/企画書.md`（公演企画書。演出ごとに「学校の舞台で本当にできるか」を明記）
- `other/台本/台本_BackToTheFuture.md`（ACT1〜6、上演時間約40分想定のフル台本）
- `other/配役表.md`（配役表テンプレート、役名・必要人数のみ）
- `other/役割書_照明係.md` / `役割書_音響係.md` / `役割書_大道具係.md` /
`役割書_小道具係.md` / `役割書_舞台監督.md` / `役割書_キャスト.md`
- `生徒用/音響ツール/音響再生ツール.html` / `manifest.json` / `sw.js`
（PWA雛形。CUES定義はBTTF向け仮キューのみで実音源は未収録。`sw.js`は
`3D-bunkasai-2026`の教訓を踏まえ、最初からNetwork First / Stale-While-Revalidate
方式を採用し、`CACHE_NAME`の手動バージョンアップに依存しない設計にしてある）
- `tools/README.md`（PDF化は`claude-workspace`共通ツールを使う旨の案内）
- `過去版/`・`生徒用/pdf/`・`生徒用/html/`（現時点では空、`.gitkeep`のみ）
- PDF/HTML生成は今回未実施（`生徒用/pdf/`・`生徒用/html/`は空）。必要になったら
`claude-workspace/tools/md_to_html.py`・`chrome_print.mjs`を使う
（`tools/PDF_STYLE_LOG.md`でテーマの使い回し禁止ルールを確認のうえ、未使用テーマを選ぶこと）。
- 音響ツールの`icons/`フォルダも現時点では空（`.gitkeep`のみ）。アイコン画像は後日追加する。
- 最重要キューとして**SE1「雷鳴・時計塔」**（ACT6クライマックス、タイムトラベル発動の

トリガー）を位置づけ、台本・音響係／照明係／舞台監督の各役割書に一貫して明記した。